

タイムラプス培養に関する説明書

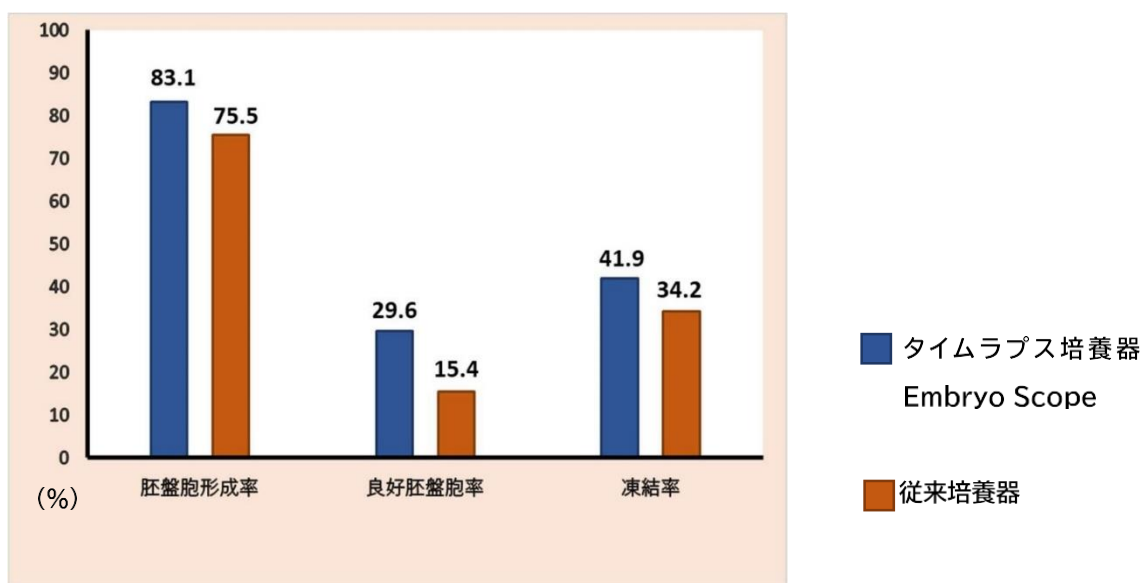
●タイムラプス培養器

通常の胚培養はインキュベーターという専用の培養器によって温度、pH、浸透圧など、胚が成長するのに必要な環境を維持しています。胚は、3～5 日間にわたって一定の時点で3～4 回の観察や検査が必要になります。その都度インキュベーターから取り出すことになり、胚に大きなストレスがかかります。しかし、タイムラプスシステムは内蔵カメラと顕微鏡を備えたインキュベーターの中で胚の画像を一定間隔で撮影し、その画像を繋げることで動画のように見ることができます。胚を安定した環境に置いたまま、タイムラプスに接続したモニターで成長を観察するので、胚への負担は軽減され、得られる情報は増加し、より良好な胚の選択を行うことができます。当院ではヴィトロライフ社のタイムラプスインキュベーターを使用して受精卵（胚）の培養と観察を行っています。

●当院におけるタイムラプス培養器：Embryo Scope の成績

当院で、タイムラプス培養器：Embryo Scope と従来の培養器の胚への影響を比較

	タイムラプス培養器 Embryo Scope 540 個	従来培養器 597 個	有意差
胚盤胞形成率	83.1%	75.5%	あり
良好胚盤胞率	29.6%	15.4%	あり
凍結率	41.9%	34.2%	あり



●移植後胎囊の有無に対するロジスティック回帰分析結果

	オッズ比	95% 信頼区間	有意差
タイムラプス培養器の使用	1.49	1.26 - 1.76	あり

タイムラプス培養器：Embryo Scope の使用は、胚盤胞形成を促し、胚質を高めた上で凍結数を増やす事ができます。加えて、移植した胚において有意に妊娠率を改善する結果となりました。

これは従来の培養器と比較して培養外に出る時間が少なく、よりお腹の環境に近い状態を長く維持し環境変化による胚負担が少ない事が、胚質の改善に至ったと考えられます。

●副作用：直接人体に影響を及ぼすものではないため該当なし。

【費用】 33,000 円

先進医療として申請を行うため、3割負担にはならず全額自己負担になります。

※先進医療費は高額医療費助成の対象となりませんのでご注意ください。